

三原二中校長通信

校訓「響き合う二中っ子」
 キャッチコピー「響き合っていますか、私たち」

第3号
 平成22年5月17日

生徒指導の三機能を生かした授業改善 — 当たり前前を当たり前前にかきらせるために！ —

各教科等(各教科・道徳・総合的な学習の時間・特別活動)において、次の授業評価票を活用することによって、生徒に一時間一時間の授業を大切にさせ、学力の向上を図っていきましょう。

授業評価票に掲載していることは当たり前のことばかりです。しかし、当たり前前が当たり前前にできない生徒の実態が見られます。その要因の一つとして、すべての教職員が同じベクトルに向かって指導の徹底を図ることができていないことが考えられます。即、改善を図っていきましょう。

***指導の徹底を図る→一定のレベルに達していない行為は是認せず、やり直しをさせる。**

	I 授業に集中できる環境づくり	評価(○)	備考
導 入	①学習環境(机・椅子・ロッカーが整理整頓されているか、床・掲示物・黒板が整然としているかなど)について確認し、指導する。	A B C D	
	②生徒の状況(出欠席・チャイム着席・身だしなみ・立腰など)について確認し、指導する。	A B C D	
	③授業開始の挨拶をきちんとさせる。	A B C D	
	④本時のねらいや目標を明確に示す。	A B C D	
展 開	II 生徒指導の三機能を生かした授業づくり	A B C D	
	1 共感的人間関係	A B C D	
	①よい姿を褒め、好ましくない姿を正す(叱る)。	A B C D	
	②生徒同士の相互作用(生徒の発言をつなげ、生徒同士の学び合いになるようにすること)を取り入れ、お互いのよさを認め合えるようにする。	A B C D	
	③教師主導にならないよう、生徒の活動を取り入れた授業を推進する。	A B C D	
	2 自己存在感	A B C D	
	①生徒同士が協同して主体的・能動的な学習ができるよう、ペアトーク・グループトーク・クラストークなどを取り入れる。	A B C D	
	②意欲を見せない生徒や学業が振るわない生徒にも、机間指導などによってサポートする。	A B C D	
	③「よくできたね」「頑張っているね」などの承認・賞賛・励ましの営みを大切にする。	A B C D	
	3 自己決定	A B C D	
①「一人学び」を取り入れるなど、一人で考える時間を設定する。	A B C D		
②生徒が自分の考えをみんなの前で表現する場を設定する。	A B C D		
③発表などの表現ができにくい生徒に対して、段階的な指導や意図的な指名などによってサポートする。	A B C D		
④生徒一人ひとりの学習状況を見とりながら、個に応じた指導を行う。	A B C D		
終 末	III 本時のまとめと次時への接続	A B C D	
	①自己評価や相互評価など、生徒の評価活動を取り入れて本時の振り返りをさせる。	A B C D	
	②学習内容だけでなく、学習規律や関心・意欲・態度、思考力・判断力・表現力等を含めた授業全体の評価をする。	A B C D	
	③次時の学習の予告及び家庭学習(宿題—授業との接続)の指導をする。	A B C D	
	④授業終了の挨拶をきちんとさせる。	A B C D	

